

『バス車両内の車いす固定の問題について』

バリアフリー法が制定されて以来、交通弱者のバス利用におけるバリアフリー化が進みつつある一方で、乗車中に利用者の安全性を確保する車いすの固定にはまだ深刻といえるバリアが生じています。例えば、固定に大変な時間がかかるため利用者の心理的負担が大きいことや、車いすの種類によっては固定が困難との理由で利用できない場合もみられます。本勉強会ではバス車両内における車いす固定に関する考え方やこれまでの経緯について有識者から解説を行うとともに、関係者の対応実態とその課題などについて報告します。これにより運行事業者、管理者、車いすメーカー、まちづくり技術者の当該問題に対する理解を高めるとともに、車いす利用者を含めたバス利用者皆が安全に利用できる環境のためのヒントを探ります。

日時：12月14日（土） 13：30～16：50（開場 13：00）

場所：つながれっと NAGOYA 特別セミナールーム AB（名古屋市中区千代田5丁目18-24）

※託児施設が併設されています。詳しくはホームページをご確認下さい。

(<http://www.tsunagalet.city.nagoya.jp/baby/index.html>)

内容：

13:30～13:35 開会挨拶 NPO 法人東海福祉移動研究協議会 水谷克博

13:35～14:25 講演 「路線バス車両内の車いす固定の問題について」

交通エコロジー・モビリティ財団 沢田大輔

14:25～14:40 休憩

14:40～16:45 パネルディスカッション 「バス車両内の車いす固定の問題について」

コーディネータ 中部大学 磯部友彦

パネリスト 愛知県重度障害者の生活をよくする会 平山晶士

日進医療器株式会社 亀野敏志

中部運輸局 自動車交通部旅客第一課 小林裕之

中部運輸局 自動車技術安全部保安・環境課 大平典良

交通エコロジー・モビリティ財団 沢田大輔

16:45～16:50 閉会挨拶 株式会社キクテック 荻野弘

（金山へ移動）

18:00～20:00 交流会

会場：サルヴァトーレ・クオモ・アンド・バール金山

<http://www.salvatore.jp/restaurant/kanayama/index.html>

主催：日本福祉のまちづくり学会東海北陸支部

連絡先：日本福祉のまちづくり学会東海北陸支部事務局

わだちコンピュータハウス内 担当：水谷、河村

Tel 052-841-9888 Fax 052-841-3788

fukumachi-jimukyoku@aju-cil.com

日本福祉のまちづくり学会東海北陸支部 12月勉強会

『バス車両内の車いす固定の問題について』 お申し込み 記入票 (FAX 052-841-3788)

氏名	
所属	
電話番号	
メールアドレス	@
情報保障の必要性 必要なものに○を付けてください	要約筆記、手話通訳、磁気ループ、同時通訳、 その他 ()
託児施設の利用予定	有り 無し ※利用料金は 250 円です。当日支部事務局へお支払い下さい。
東海北陸支部交流会	参加する 参加しない ※会場から電車で（金山駅まで）移動します。会費は 4,000 円です。

会場（つながれっと）のご案内

○地下鉄 鶴舞線

「鶴舞」駅下車、1 番出口から北へ徒歩約 5 分。

○市バス 栄 20・栄 26・黒川 12 系統

「千代田五丁目（男女平等参画推進センター）」下車、徒歩 2 分。

○JR 中央本線

「鶴舞」駅下車、北へ徒歩約 5 分。

○自動車・タクシー

JR 名古屋駅から約 25 分。

周辺地図 (<http://www.tsunagalet.city.nagoya.jp/what/what.html>)

